

シニアネット仙台

平成22年 1月

目次

新年のご挨拶……………1	なんでもシネマ……………5
クリスマスパーティー……………2	飛行船俳句会・あしかび短歌会…6
明治村を訪ねて……………3	グループ活動案内……………7
講座案内……………4	事務局だより……………8

シニアネット仙台のホームページもどうぞ <http://www.sendai-senior.org/>

2010年新年のご挨拶

理事長 小松 一雄

新年明けましておめでとうございます。

今年の元日は、降り積もった雪で、正月らしい気分で新年を迎えました。

来し方を想い行く方に想いを巡らせると、残念だったことは、COP15（炭酸ガス削減のための世界会議）。エコを目標に開かれた会議は、世界各国のエゴを曝け出すだけの結果に終わってしまったこと。これでは、「地球は一つ」などとはとても言えません。うれしかったことは楽天イーグルスとベガルタ仙台の大活躍で日本全国の眼を仙台に向けさせ、仙台市民も大いに盛り上がったこと。スポーツが地域活性化に大きな役割を果たすことが実感できた年でありました。

シニアネット仙台も設立以来15年目（一番町移転後では丸10年）を迎えることになりました。厳しさを増すNPO環境に対応するため、完全自立型のNPOを目指して取り組みを進めているところであります。

年頭にあたり、今後、シニアネット仙台の運用が習慣化し、マンネリ化してしまわないよう、そこそこのチェンジを求めて、工夫し努力を傾注してまいりたいと存じますので、皆様方の更なるご協力をお願いして、年頭の挨拶といたします。

明けましておめでとうございます。

今年も皆様の益々のご活躍を期待しております。

新年の始まりに「縁」という文字を揮毫させていただきました。

私達は平安を常に望みながら、いつだって心に翻弄されていますね。

しかし、そのこんがらがった心こそが人と人とをしっかりと結び付けているように思うのです。

シニアネット仙台は多くの方が集い活動しています。

そのネットワークを支えるものが「縁」であるように思います。

ことしも、さまざまな活動や出会いを通してシニアネット仙台が大きく発展しますよう願って、この書を送らせて頂きます。

今年もよろしく願いいたします。

大塚耕志郎

クリスマス・パーティーは大盛況

参加者は100名を越す

12月11日、午後5時より、福祉プラザ1階ホールで行なわれた恒例のクリスマス・パーティーは参加者が前年より29名も多い103名になり、大盛況となった。

今回のクリスマス・パーティーでは、ロビーで「書道楽」「折り紙教室」「あしかび短歌会」その他の皆さんの作品展示が行なわれ、開会の前から文化的な情緒が醸し出されシニアネット仙台らしい雰囲気となった。

開会の冒頭とパーティーの中程では、「桂すいせんの会」の皆様による大正琴の演奏会が行なわれた。曲目は「サンタが町にやってくる」「星降る街角」などの他、「さそり座の女」など多彩であり、ドラム効果音などリズムカルが演奏技法も新鮮であり、多くの参加者は大正琴の新しい魅力に驚いていた。熱烈なアンコールの声に応えての曲目は「あざみの歌」であった。

舞台上に勢ぞろいして、日頃の練習の喉を披露していただいたのは、「うたごえサロン」「シャンソン教室」「ボイストレーニング」の皆さんだった。なかにはムードたっぷりの曲にあわせて社交ダンスを踊り始める参加者もいて、パーティーのムードは和気藹々そのもの。

パーティー途中のイベントは、入場券の半券のナンバーによる抽選会。名司会丹野恵子さんのお陰もあり、当たった人も、当たらなかった人もそれなりに盛り上がった。

すこし残念であったのは、食事が早い時間帯に残り少なくなったこと。今回は、以前より食事予算も増加しておいしいメニューにしたことなどが影響しているようだ。そのため、遅れて参加した会員の中には美味しい食事を十分にいただけなかった方もおられてお気の毒をした。今後は、食事の量の増加や時間をずらした配膳なども考えていく必要があるようだ。

シニアネットの近年のクリスマス・パーティーは楽しい催しがあるにもかかわらず、これまでは参加者が70名前後と低迷していたが、今回は参加者数の目標を100名と定めて準備に入った。具体的には、サロンわいわいを利用して行なわれている各種の講座・教室の参加者や活動グループへの参加呼び掛けをこまめに行ったり、教室やグループ活動の作品展示を午後3時過ぎから実施した。また、昨年までは余ってしまった食事についてはより美味しいものへとレベルアップをはかった。このような努力の積み上げで参加者の増加につながったようであり、事務局ではまだ残る幾つかの問題点を改善して来年はもっと盛況で楽しいクリスマス・パーティーにしていきたいと意気込んでいる。



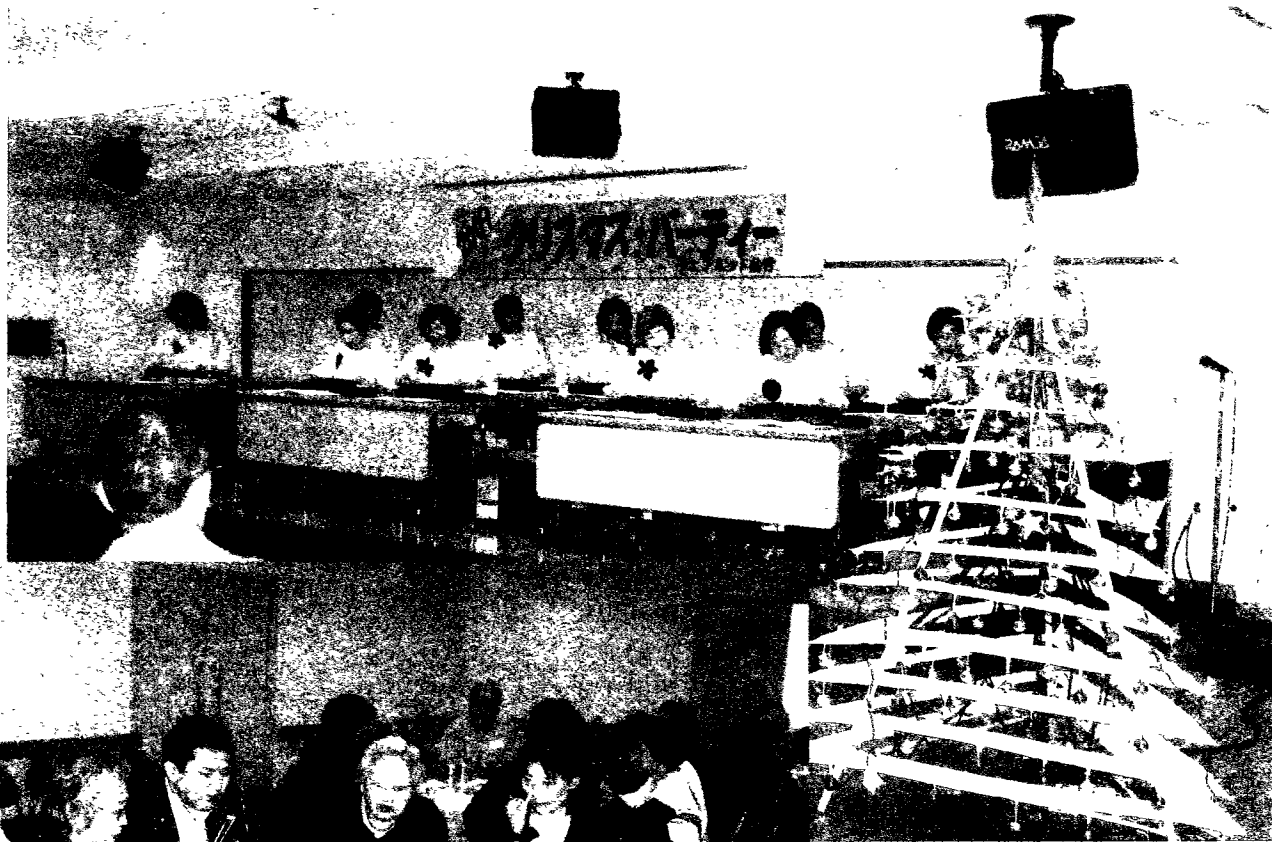
シャンソン教室の皆さんの熱傷

明治村を訪ねて・・・長内 彩乃

名鉄で犬山市にある明治村に行った。村内を巡る案内バス『ハイカラ号』の終着は、帝国ホテル中央玄関前、そこから63の建造物を廻ることができるが、とても時間内にすべてをまわることはできないので、友人との興味をつきあわせて数箇所限定。聖ヨハネ教会堂、西郷隆盛の弟西郷従道邸、乃木將軍邸、森鷗外・夏目漱石住宅などを巡り、その間、

伊勢市から移築したという宇治山田郵便局から数通の葉書を出した。古風なポストに投函すると、明治村の消印がついて届く。前島密によりスタートした日本の郵便の歴史を知る展示があり、また懐かしいポストが並べられていて楽しい見学だった。楽しいといえば、駄菓子屋さん。そこでは懐かしさに駆られて数点の駄菓子を購入。漱石住宅では猫のなき声のお出迎えにびっくり。最後は、餡とクリームをはさんだ不思議なホットドッグとコロッケの昼食で終わった。

平成16年発行の『私たちの昭和』の冒頭で久保田誠氏は『降る雪や明治は遠くなりなけり』という中村草田男の句をひいておられる。確かに明治は遠くなった。平成に生きるシニア世代には懐古の情に満たされるばかりである。しかし、もし昭和村で歴史を語る建造物が建てられるとすれば、一体どんな建物が候補にあがるのだろうか？高層ビルの林立する時代になり、移築可能な建物はどんなものだろうか？要するに、『昭和も遠く』なりにけりなのではないだろうか・・・平成時代の若者達に期待したい。



上：桂すいせんの会の演奏



左：美味しい料理に話がはずむ

講座「仙台・歴史アラカルト」ご案内**I 1月講座**

- 1 日 時 1月14日(木) 10:30~12:00
 2 内 容 「伊達政宗の花押と大崎葛西一揆」をテーマに、一揆を巡る秀吉への対応から戦国武将としての政宗像を探ります。

II 2月講座

- 1 日 時 2月25日(木) 10:30~12:00
 2 内 容 「伊達政宗・エピソード10」をテーマに、沢山ある政宗のエピソードを紹介すると共にそこに見えてくる政宗の実像を探ります。

◎ 参加費 シニアネット仙台会員700円・非会員950円(資料代を含む)

◎ 会場・申込み I・IIとも「サロンわい・わい一番町」。
 電話・FAX (217)0101 開講日の一週間前まで。

「ぐるーぷ・よっこより」研修会ご案内**I 1月研修会**

- 1 日 時 1月25日(月) 10:30~12:00
 2 会 場 仙台市民会館 第1会議室
 3 テー マ 仙台北下絵図を読む
 4 講 師 「ぐるーぷ・よっこより」代表 遠藤勝目さん

II 2月研修会

- 1 日 時 2月23日(月) 10:30~12:00
 2 会 場 仙台市民会館 第1会議室
 3 テー マ 中世の城・近世の城
 4 講 師 仙台市博物館市史編さん室 菅野正道さん

◎ 参加費 シニアネット仙台会員 300円 非会員500円

◎ 申込締切 I・IIとも実施日の一週間前まで、電話・FAX (278)2848 遠藤

医療・福祉等に関する講座を終えて(平成21年10月29日)

講師 河原町地域包括センター所長 高橋夕香様
 ケアマネージャー 鈴木富貴子

お話は、老後どのような施設があるか、利用するにはどうするか?

介護申請は何処でするのか等、とても参考になりました。お話も明るく楽しく参加者が少ないのが(9名)勿体ないようでした。施設を転々としている方が多くいる現状、くるくる変わる変な法律。

私は関係ないとは言いきれません、「明日はわが身」私たち高齢者も家族も勉強が必要です。年に1度は新しい情報を聞きたいものです。最後に各包括センターでは様々な催し相談も行なっているようです。今回お話を聞けなかった方は、一度顔を出されてはいかががでしょうか!!

《月曜日 スタッフ》

サロン企画**第10回 ハーモニーコンサート**

今年も・・・!!

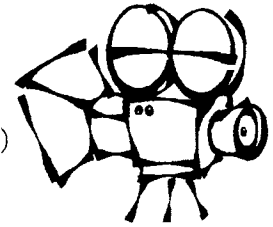
サロン恒例のハーモニーコンサート 美しくうたいましょう!!

いつ? 2010年2月25日(木) 午後1時30分~3時30分

どこで? サロンわいわい一番町

◎なんでもシネマ (54)

「オリジナルにこだわる」



クロサワ、といえは年配者は黒澤明をイメージするだろうが、若い世代は黒沢清 (54) だろう。「CURE」、「回路」などのサイコスリラーで海外ではゴッドファーザー・オブ・ジャパニーズホラーとして支持され、近作「トウキョウソナタ」は08年カンヌ映画祭「ある視点」部門で審査員賞を受賞した。

11月末に開かれた欧米以外の作品を取り上げる西仏・ナントの第31回三大陸映画祭が彼を特集、18作品を紹介した。監督も参加したトークを聞いたが、オリジナリティーにこだわる制作姿勢が印象的だった。というのも、2009年も前年に続き邦画が好調だったが、内実はTVドラマやコミックの焼き直しが主流だからだ。1980年代以降、撮影所システムが崩壊、シナリオを練り上げる基盤を失ってからは、この傾向が続く。かのハリウッドも同じ状況で、より深刻だ。

トークの発言から拾ってみた。

彼がスタート切ったピンク映画の現場は「自分の好きなものを実験的につくりだすことができた自由な場」だったという。オリジナリティーにこだわり、ジャンルの枠をたやすく越える。ネットを介して「あの世」と現世の境界が崩れる恐怖を描いた「回路」(2000年)と、無気力に生きる青年の小さな変化を扱った作家性のある「アカルイミライ」(02年)とでは連続性がないようだが、監督にすれば「一から自分で考えたところは共通」ということになる。

「回路」では幽霊が見え、「あの世」に取り込まれた者は消えていく。「カメラは存在しているものを撮る、という原理を突き詰めれば、写っていることは現実だ。途方もない出来事を堂々と見せることが映画なんだ」。

そして個人と「国」さらには「世界」が対立した場合、現実なら個人が負けるが、映画では逆で構わないと語る。ただ「相手の世界が1つ、という想定は01年以降、たくさんのものが複雑に絡み合い、変化し続けている、という考えに変わってきた」そうだ。映画の原点にこだわり、考えを突き詰める、それが邦画の地平線を拓いてきたのだろう。(直)

ボウリング愛好会より

1月よりスタートします！！

ボウリングをして健康維持・ボケ防止・メタボ予防

年間活動日(会費の一部をシニアネット仙台に寄付しています)

1月28日、2月25日、3月25日、4月22日、5月27日、6月24日、

7月29日、8月24日、9月30日、10月28日、11月25日

*毎月最終木曜日 勝山ボウルに於いて 10時スタートです

*参加費 2,000円(3ゲーム・靴代は自費)

*世話人 中村・及川(す) 217-0101までどうぞ

サロン企画

第2弾 あなたの美しさに磨きをかけよう！！

《この春自分に似合う色をさがそう！！》

講師にカラーリストの加川映子氏をお迎えし色彩プロモーションの方々が診断してくれます。診断後、女性には似合う口紅を付けて、マフラーなどのアドバイスをしない、男性にはネクタイの色などのアドバイスをしないです。

◎参加費は 300円(コーヒー付き)

◎22年3月11日(木)

午前 10時30分から12時まで 定員 10名程度

午後 13時30分から15時まで 定員 10名程度

都合の良い時間にお申込みください 217-0101 サロンスタッフまで

